

4名で始めます

手順No. 1 - 1

オモテ面

はじめに読んでください

この手順書を、夜間に使用する場合は、手順別ナンバー順に対応（作業）指示を発します。昼間に使用する場合は、「手順No.2 発電機と投光器の設営」を後回しにして構いません。

リーダー・サブリーダーの決定

この手順書を声に出して読む人（リーダー）とその人をサポートするサブリーダー3名を決めてください。

はじめに、リーダーは、下記①～⑦を避難者の皆さんの前で読み上げてください。

①この手順書どおりに行えば開設できますので、ご安心ください。行政の支援が遅れても、避難者が困らないように、感染者を隔離し、入所者の名前などを記録し、衛生環境を整えます。

②まずは深呼吸

まずは、一度、深呼吸をして落ち着きましょう。

③人が集まるまで待機

1人や2人では開設準備ができないので、あわてずに待ちましょう。

④火災の確認

焦げた臭いや煙を確認した時は、避難所の中や周辺地域を確認してください。火災が迫っている場合は、緊急避難場所に逃げましょう！

⑤指示する人は動かない：伝令役 1 名が動く

リーダーと手助けするサブリーダー 2 人は、指示するだけで、ここから動きません。伝令役のサブリーダー 1 人はリーダーの意思を伝えに走ります。

⑥進捗状況の確認

サブリーダーは、すべての行動をケース内にある「全体行動確認表」でチェックしてください。手順別に作業が進みますが、距離があって報告が遅れている場合などは、全体が把握できませんから、伝令役のサブリーダーに状況確認を依頼してください。

⑦指示を受けた人は報告を！

各手順書で指示を受けた人は、作業が終わったら、リーダーに必ず報告し、手順書を返却しましょう。

リーダーは作業が終わった手順書を「手順書回収ケース」に入れます。